

令和5年度富山県中小企業経営モデル企業の概要

企業名	NES株式会社		住所	〒930-0884 富山市五福末広町1033番地		
ホームページ	https://www.neskk.co.jp					
代表者	代表取締役 成川和彦	資本金	4,400万円	従業員	93名	
業種	情報通信業					
取扱品目	IT・情報・通信・映像・放送・電子・計測・制御・監視等のシステム開発 企画・設計・施工・保守サービス					
沿革	昭和45年 無線通信機器、電子計算機の修理・保守サービスを中心に電子機器サービスデポとして、富山市荒川に資本金350万円で設立 昭和52年 金沢及び福井営業所を開設 昭和53年 本社を富山市下赤江に移転 昭和54年 建設業法登録業者（電気、機械器具、電気通信）の県知事許可取得 昭和57年 厚生省より医療機器製造の許可取得 平成8年 資本金4,400万円へ増資 平成10年 郵政省より第2種点検事業者の認定を取得 平成12年 関連会社テクノトラスト株式会社設立 平成13年 本社を富山市五福末広町に移転 平成14年 ISO9001:2000を取得 平成18年 一般建設業（電気、機械器具、電気通信）の大臣許可取得 平成27年 高度管理医療機器等（販売業、貸与業）の県知事許可取得 平成27年 特定建設業（電気）の大臣許可取得 平成28年 医療機器修理業の県知事許可取得 令和元年 社名を「日本エレクトロニクス・サービス株式会社」から「NES株式会社」に変更 令和2年 特定建設業（電気通信）の大臣許可取得					

指定要件の内容

要件	要件の具体的内容
①構造的課題や情報化への対応がなされている企業	<p>1 AI・IoT技術を活用した高所作業車の遠隔安全対策システムの開発や、AGV（自走ロボット）と遠方監視制御を組み合わせた遠隔地無人保守点検の実証実験に取り組んでいる。DX推進、作業の省力化・省人化など、構造的課題に対する新ビジネスモデルの構築を行っている。</p> <p>2 創業当初から無線機器、電子計算機、オフィスコンピュータの修理・保守を担っているが、これまでに10以上の特許を取得し、現在も9の特許を保持し、独自の技術力を有している。主力事業の情報通信技術を活かしたサービスを展開し、特許を持つ長距離認証可能な入退場管理システムは、顧客ごとの異なるニーズに合わせたシステムの開発・施行・保守までの一貫した提案を行っている。</p>
②独自の技術力を持つ 企画提案型企業	
③独創的な自社製品を持つ 開発型企業	
④先駆的な経営管理システムを持つ企業	
⑤新規に創業等を行い、成功を収めたベンチャー企業	

事業内容等について

<p>NES株式会社は、情報・通信・映像・放送・電子・計測・制御・監視システムの企画開発から施工・保守まで、一貫したサービスを提供するソリューションサービスプロバイダである。</p> <p>同社の主力商品の一つである長距離認証が可能な入退場認証タグ（RFIDタグ）は、同社独自のアンテナ技術を用いたオリジナル品である。また、標準の音声認識機能を活用して、既存のエクセル表への数値や単語などを入力できるソフトウェア商品など、専門的な技術力と現場経験を活かした提案とシステム商品を販売している。</p> <p>そのほか、富山県立大学と共同開発した虹彩認証装置の画像認識処理技術と設立以来培ってきた無線技術に、AI・IoT技術を結び付け、「高所作業車の逸走事故防止」のための安全管理システムの新規製品開発への取り組みや、遠方監視制御装置の技術とAGV（自走ロボット）を組み合わせ、これまで有人で行われていた発電所の巡視点検を遠隔地からでも無人で実施できるようにする省力化の実証実験なども行っている。</p> <p>同社は、これまで蓄積した豊富なノウハウとエレクトロニクス技術を活用して、時代にあったビジネスモデルを提案し続ける企業である。</p> <p>持続可能な開発目標SDGsにも積極的に取り組んでおり、「富山県SDGs宣言」においては第一次募集で採択され、県内でも早期に取り組みを始めている。具体的には、共同出資で「水の国電力株式会社」を設立し、朝日町で再生可能エネルギーである小水力発電に参入している。また社内においても、業務のDX化、賃金体系の見直し、人事制度の改革など、働き方改革にも積極的に取り組んでいる。</p>
